

2021年4月12日

内閣総理大臣 菅 義偉 殿

汚染水海洋放出方針に対する抗議文

政府は4月9日、東京電力福島第一原発で発生する放射能汚染水を処理した後に残る高濃度トリチウム（3重水素）を含む汚染水の処理方法に関し、海洋放出とする方針を固めました。が、原水爆禁止日本協議会（日本原水協）として、断固抗議するものです。

放射性物質の自然界への排出は安全性の問題からも最大限の努力をして避けるべきです。同時に、また風評被害の問題も、ただでさえ大きな打撃を受けている全漁連の「断固反対」との表明があるように、地元住民や漁業関係者の意見は重要です。絶対に無視したり、軽視して強行すべきではありません。国と東電はなお、安全性の問題とともに住民の健康と生活を最大限に尊重し、当面、汚染水の管理・保存の継続的体制を取るべきです。

日本原水協は、原発ゼロ（廃炉）、再生可能エネルギーへの転換、放射線被害の根絶を求める運動体として、汚染水海洋放出の方針を撤回し、以上の点をふまえながら、対応することを切に求めるものです。

原水爆禁止日本協議会（日本原水協）